

伊奈病院は

(財)日本医療機能評価機構の

認定病院です



ハーモニー

理念

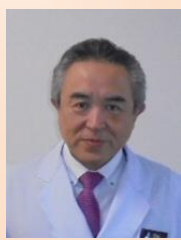
私たちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さまに信頼される病院をめざします。

理念の実行方法

1. 私たちは、十分な説明と同意に基づいて分かりやすい医療を実践します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、職員が一体となったチーム医療を実践します。
3. 私たちは、患者さまの意思・権利・プライバシーを尊重し、思いやりのある医療を実践します。
4. 私たちは、地域に信頼される病院を目指すとともに、職員としての誇りを持つる職場を作ります。
5. 私たちは、健全で効率的な病院経営基盤を確立し、地域の基幹病院としての使命を遂行します。

新年のあいさつ

院長 松村 重之



あけましておめでとうございます。今年の皆様のご多幸、ご健勝をお祈りいたします。

平成30年は医療保険・介護保険のダブル改定があり、報道にもありますように診療報酬の削減が予想されます。病院の経営も大変な時代となっております。しかし、地域医療のために今後とも最大限の努力をしてまいりたいと考えております。

また、安全な医療の達成、病院のアメニティーの改善も行っていきたいと思っております。患者さまにはご不便な面もあるかと思いますが、多くのご意見も頂き改善を図っていきます。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

冬に多い乾燥肌

皮膚科 濱出 洋平



冬には気温だけでなく湿度も低くなるため、皮膚から水分が蒸発しやすくなり、乾燥して粉を吹いたように白くなります。これが乾燥肌の状態です。

乾燥した部分は外からの刺激が入りやすくなり、痒みや軽い痛みを感じます。特に症状が出やすい部分は、すねや腰回り、肩、背中です。

乾燥肌の状態で適切な治療を行わずに、さらに乾燥や摩擦などの刺激が加わると、赤みや痒みが出る湿疹の状態になります。痒みは不眠の原因にもなり、日常生活に影響をきたすほか、皮膚のバリア機能が損なわれ、感染症を起こすこともあり、予防や早期の治療が重要です。

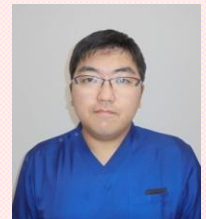
治療には、乾燥を防ぐために保湿効果のある塗り薬（ワセリンなど）をてかかって見えるくらい厚くこまめに塗り、皮膚から水分が蒸発するのを防ぎます。痒みがある場合は、痒みを治める塗り薬（ステロイド配合のもの）を厚めに塗ることに加え、痒み止めの飲み薬（抗ヒスタミン薬等）を症状に合わせて併用します。

また生活習慣の改善として、入浴はぬるめのお湯で、体を洗う時は石鹸の泡をつけて手でなでる程度です。下着類は肌に優しい木綿製品などを使用、お酒や辛いものは控える、などが大事です。

《地域医療連携にご協力頂いている先生方をご紹介します》

【伊奈entクリニック】

院長 中座資実 先生



平成29年9月1日より伊奈町にて耳鼻咽喉科クリニックを開業いたしました。かつて大学病院およびその関連病院に勤務していた頃から、患者様との距離が近く、より地域に密着した医療に憧れておりました。伊奈町は元々耳鼻咽喉科が少なかったと伺っており、実際近くにクリニックができて良かったとの声も多く耳にします。そのような地域に少しでも貢献できる事はこの上ない喜びであり励みとなります。これからも、多くの皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

また当院では平成29年11月より美容診療も行っておりますので、そちらもよろしく願いいたします。なお、美容診療に関しましては完全予約制となっておりますのでご注意ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~13:00	●	●	—	●	●	●	●
15:00~18:30	●	●	—	●	●	—	—

*休診日：祝日 ●土日は午前9:00~12:00 午後は14:00~17:00（受付は15分前まで）

◆診療科目

耳鼻咽喉科、アレルギー科、気管食道科、形成外科、放射線科、美容皮膚科

◆住所

埼玉県北足立郡伊奈町大針814-1

◆電話

048-724-1133



その3 骨のためのタンパク質の話

管理栄養士 高見 勝久

みなさんは骨を強くする栄養素と聞いて、何を思い浮かべますか？

「カルシウムでしょ」という声が聞こえてきそうです。たしかに骨にとってカルシウムはとても重要です。しかし、それだけをとっていれば骨が強くなるのではなく、ほかの栄養素と上手に組み合わせることで、しっかりとした骨が作られていきます。その栄養素の一つが今回のテーマ「タンパク質」です。

骨はタンパク質がほぼ半分を占めています。タンパク質とは数十～数千のアミノ酸が結合したもので、人の体は20種類のアミノ酸によって構成されています。これらのうち体内で合成されないものは必須アミノ酸と呼ばれ、食べ物からとる必要があります。必須アミノ酸は植物性よりも動物性に多く含まれるため、肉類・魚類・卵・乳製品などの動物性タンパク質は「良質タンパク質」と呼ばれ栄養価が高いとされています。

体のタンパク質はつねに分解と合成（壊されたり、作られたり）をくり返しているため、体全体を丈夫に保つために毎日の食事からタンパク質をとることが必要になります。とり入れるタンパク質の量が少ない場合は体内のタンパク質が分解されて不足分を補おうとするため、筋肉量が減り、体力や免疫力も低下してしまいます。「ごはんと漬物だけ」や「菓子パンだけ」ではなく、タンパク質も意識した食事にしましょう。

《一日に必要なタンパク質量》

《食品に含まれるタンパク質量》



鶏ささみ100g



鮭一切れ
(100g)



木綿豆腐1/2丁
(150g)



卵1ヶ
(50g)



次号は骨密度検査のお話です。

第12回 理学療法士によるスポーツ・地域支援研修会

～自分で巻ける！！ 症状別テーピング講座～

平成29年12月9日(土)の午後、埼玉県民活動センター(けんかつ)多目的スタジオにて、当院の理学療法士によるテーピング講座を実施いたしました。10名限定でしたが、10代～80代の幅広い年代の方々にご参加いただきました。

内容は、テーピングの実践(足編、膝編、筋肉サポート編)



でした。

「少人数で対応も良く、解りやすかった。」

「筋肉に応じた方法や巻き方の方法など詳しく解りやすく指導していただき、今後に役立てていきたいと思いました。」

参加者からありがたいお言葉をいただきました。



放射線の窓 No10

放射線科 岩切翔次郎

今回は、胃がんと胃バリウム検査について説明します。現在、がんの中で一番罹患数(病気にかかる人数)が多いものは胃がんです。特に40代後半以降に高くなります。胃がんは早期発見できれば約98%が完治できる病気といわれています。しかし、発見が遅くなれば5年生存率は7%と非常に低くなります。厚生労働省の「胃がん検診の指針」では、胃バリウム検査は40歳以上の方に年に1回の実施を推進しています。

胃のバリウム検査は、胃をいろいろな角度から撮影をして病変を見つける検査です。検査の際に、発泡剤とよばれる炭酸を飲んで頂きます。すると胃の中で炭酸のガスが発生し、コーラを飲んだときのように胃が膨れてきます。この時にゲップをしないようにして検査を行います。もしここでゲップをしてしまうと胃が縮んで病変が見つかりにくくなってしまいます。その胃が膨れた状態でバリウムを飲んで頂き、ベッドの上で右を向いたり左を向いたりして撮影を行います。検査は約10分ほどで終わります。

放射線を使う検査ですが、近年では「撮影装置の性能の向上」と「写真のデジタル化」でバリウム検査の被ばく値は低下しています。伊奈病院も最新の透視撮影装置を導入していますので、検査被ばくを過度に心配する必要はありません。

体のメンテナンスのために一度バリウム検査を受けてみてはいかがでしょうか。



ゲップをした胃



ゲップをしてない胃

ハッピーハロウィン 2017



10月31日ハロウィンの日。伊奈病院つくし保育室では、子供たちが仮装して病院や近隣の施設を回りました。今年は、2歳児は魔女、0~1歳児は今大人気のミニオンになり、かぼちゃのバックをかけたリ、猫のリュックを背負ったりしました。『トリック・オア・トリート!』と、子供たちが大きな声で言うと、伊奈病院では『ハッピーハロウィン!』と言って、看護部長より一人一人お菓子を頂きました。

また、一心館では利用者のおじいちゃん、おばあちゃんより『かわいいね~。かわいいね~。』の声を頂きました。子供たちの顔も満面の笑みです。また、お菓子をたくさん持ってさらに笑顔の子供たちです。バックの中は溢れんばかりのお菓子が山盛りのHappy Halloween(*^_^*)でした。



医療法人社団愛友会 伊奈病院

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9419

TEL : 048-721-3692(代)

ホームページ :

<http://www.inahp.saitama.jp>

公式 facebook ページ : <http://www.facebook.com/inahospital>



伊奈病院
ホームページ

右記のQRコードより
アクセスしてください

<http://inahp.saitama.jp/>

